事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	博物館			■担当	当係	博物館		
■評価事業名称	調査研究・資料収集等事業							
■事業開始年度								
■評価事業コード	402200 - 014 ■会計区分 一般会計							
	■政策 02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり							
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	■基本施策 02 社会教育の充実						
<u> </u>	■施策	03 社会教育機能の充実						
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策							
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)							
■法令等の名称	博物館法第3条							
■関連計画の名称								
■事 業 の■目的と概要	郷土の自然や文化をわかりやすく解説する冊子を作成することにより、市民の知識・理解を深め、郷土への関心を高める。各分野において研究を行い、その成果を冊子として発行する。							

2. 細事業の活動実績情報

細事		事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	調査研究冊 子発行事業	市民	北上川流域の自然と文化シリーズ第32 号の発行(500部)	「国見山廃寺と周辺の寺院跡」図録冊子 発行(500部)
02	専任研究員 等設置事業	市民及び学術 研究者	配置した専任研究員2人、研究員3人。 各種学習活動への講師派遣。	配置した専任研究員2人、研究員3人。 収蔵資料の整理、各種学習活動への講 師派遣(受講者数1151人)。
03	資料収集·整 理·保管事業	博物館	適宜資料受入·整理	適宜資料受入·整理、下柳文書共同調查(奥州市、岩手大学)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	4,233	3,996	3,783	4,495	
人 件 費	5,405	6,255	8,267	7,624	
その他(公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	9,638	10,251	12,050	12,119	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標 Iード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
頒布1冊	当りコスト					
シリーズ の発行部	、博物館研究報告等 ³ 数	500部				シリーズ、博物館研究報告 等の発行部数
シリーズ の発行回	、博物館研究報告等]数	10	0回			シリーズ、博物館研究報告 書の発行回数(交互に隔年 で刊行)

頒布1冊当りコスト							
シリーズ、博物館研究報告等 50 の発行部数	00部				シリーズ、博物館研究報告 等の発行部数		
シリーズ、博物館研究報告等 1 の発行回数	回	0回			シリーズ、博物館研究報告 書の発行回数(交互に隔年 で刊行)		
5. 事後評価(「政策」事業類型							
日堙孝式化记	或状況の分析 館の研究成果ℓ	こついて、市民に			題点・課題等 究成果を高め、広く提供していくため学芸員、		
	できている。また	た、学芸員、研究 、市民のニーズに	員を講師とし		体制を強化する必要がある。		
	を提供できてい	る。					
○ C. 遅れている							
	──────────────────────────────	・民間との競合関	係の有無 ――				
○ 不特定多数に及ぶ	● 類似	の事業はない					
● 特定されるが多数に及ぶ	│	の事業はあるが意	競合はない				
○ 特定少数に限定される	○ 類似	の事業があり競る	合する				
-3. 事業廃止の影響	' 4. 市民生	上活・企業活動への	の影響 	 	の影響を受ける受益者の割合		
大きな不利益やリスクが生じる	○ 市民:	生活・企業活動の	維持に不可欠	● 1. で選択	● 1. で選択した人の大多数(70%程度)		
○ ○ ある程度の不利益やリスクが生じる	● 市民:	生活・企業活動の	維持の向上に必	× -			
○ 不利益やリスクは小さい		○ 市民生活・企業活動の維持の向上 への影響は少ない					
-6. 事業へのニーズの変化	──	の改善需要度(市	「民意識調査)—	── ── ─8. 施策の優:	先度(市民意識調査) ———		
◉ ニーズが高まっている	│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │	が高い		│ │ │ │ │ 順位が高	○ 順位が高い		
○ ニーズは変わらない	□ □ 順位	エが中程度		│ ○ 順位が中	2程度		
○ ニーズが低下している又は合致しない	● 順位	◉ 順位が低い			₹ U		
-9. 他市町村に比較しての優位性	—	主体の代替性 ―		──'! ──── ─── 11. 経済性•効 ^½	率性の向上		
○ 先進的またはユニークな事業である	● 民間	◉ 民間委託等の拡充は難しい			● 今以上の効率化や改善は難しい		
● 他と同程度の事業である	│ ○ 民間	委託等の拡充が·	十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能			
○ 遅れている事業である	○ 全部	○ 全部委託や実施主体の移行が可能 ○ 効率化			女善の余地が大きい		
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足	' 説明含む)						

博物館機能の根幹部分で継続が重要である。さらに拡充していくことが望ましい。

■今後の方向性 -

● I. 拡充

○ Ⅳ. 廃止・休止

○ Ⅱ. 継続

○ V. 完了

○ Ⅲ. 縮小